

議会改革特別委員会の中間報告

議会改革特別委員会は、平成25年11月（平成25年第3回海老名市議会臨時会）で設置され、議会改革に関する事項について調査、検討を行っています。

平成28年11月から平成29年11月までの期間においては委員会を13回開催しました。また、平成29年7月には第3回議会報告会を開催し、2日間3会場で行いました。この期間の委員会での検討内容について、中間報告としてまとめました。検討項目及び検討内容の概要については、次のとおりです。

議会報告会について

平成27年5月に第1回議会報告会を開催し、今回で3回目の開催となりました。議会報告会は年1回以上開催することとし、今後も継続して開催することとしています。開催場所、開催日、開催時間、内容などについては毎年検討を重ね改善を図ります。

議会基本条例・倫理条例について

議会改革として取り組んできたことの総括として、議会基本条例策定の必要性があると意見がまとまりました。初めに条例策定までのスケジュールを検討し、平成29年11月までに条例骨子（案）を作成し、これに基づき各条文の検討を進めていくこととしました。

議会基本条例は平成31年9月定例会上程を目標に進めていきます。

議会クラウドについて

タブレット端末導入により、ペーパーレス化及び事務の効率化が図られることから検討を行いました。

先進市への視察や各クラウドシステムを扱う企業から説明などを受けましたが、市との調整も含めて今後の研究課題としました。

議会としては、無料版の電子書棚アプリを利用しながら議会クラウド導入に向けた検証を進めていきます。

更なるインターネット中継について

委員会のインターネット中継は、試行的に平成27年2月から当特別委員会、同年9月から各常任委員会の決算審査の中継を開始しています。その他の常任委員会については、市側の意見を聴取した上で、平成29年9月定例会から中継を開始しました。中継方法については、議事堂全体の音響設備改修と併せて検討することとします。

議員定数・報酬について

客観的データに時点修正などを加え、これに基づいた検討を行うこととなっています。情報収集は継続して行い、委員会としての結論は任期内までにまとめることとします。

これまでの検討項目についての検証について

平成25年以降に当特別委員会で進めてきた検討項目のうち、改めて検証することが望ましいとする11項目について検証を行いました。

議会改革特別委員会のあり方について

これまで様々な議会改革に取り組み、一定の成果は上げていると考えており、議会基本条例制定を区切りとして発展的解消をすることで意見がまとまりました。しかしながら、条例の見直しなどを行う組織は必要であるとしています。

住みよいまちづくり条例の制定へ ～総合まちづくり特別委員会～

来るべき超高齢化と人口減少といった社会情勢を見据え、まちの持続的発展に対処するための新たなまちづくりに関する制度とするため、「住みよいまちづくり条例の制定について」が上程されました。議会では、同条例および関連する1議案について、総合まちづくり特別委員会に付託し、12月議会の閉会後も閉会中の継続審査事件として審査しています。

特別委員会の様子は、海老名市議会ホームページから「インターネット委員会中継」リンクへ



住みよいまちづくり条例 3本の柱

市民によるまちづくり

- ・まちづくり重点計画（ハード系）とまちづくり市民活動計画（ソフト系）を制度化
- ・市が主体となって地区の課題に取り組む「まちづくり重点地区」と「まちづくり重点計画」を定めることが可能に

地域へ配慮するまちづくり

- ・大規模土地取引への事前届出制度や大規模な開発事業を行う場合の周知や手続きを規定

地域へ配慮するまちづくり《開発事業の基準》

- ・上位法に基づいた開発許可基準の条例化と市独自の開発指導基準の条例化